

## 政策評価調書(25年度実績)

政策名	芸術・文化の興隆とスポーツの振興	政策コード	Ⅲ-2	関係部局名	企画振興部、福祉保健部、教育庁
-----	------------------	-------	-----	-------	-----------------

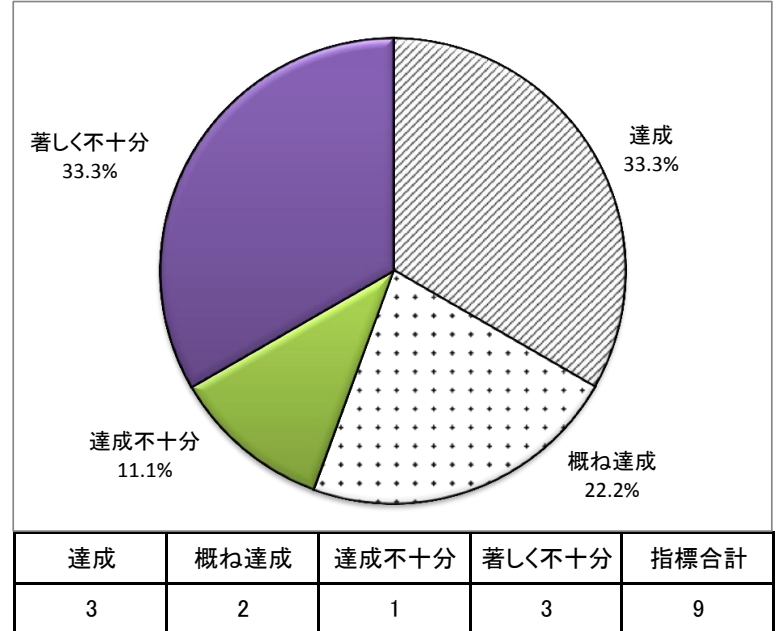
### 【Ⅰ. 政策の概要】

すぐれた芸術文化の鑑賞機会提供や文化活動の促進、次代の担い手づくり、県民の感性や創造性を高め、文化を核とした地域力を高める美術館の整備、文化財・伝統文化の保存と活用、身近な地域で誰もが自分のレベルでスポーツに親しめる環境づくりなどを進める。

### 【Ⅲ. 政策を構成する施策の評価結果】

	施策名	指標評価	総合評価
1	県民文化の創造	達成	A
2	文化財・伝統文化の保存と活用	達成	A
3	県民スポーツの振興	著しく不十分	C

### 【Ⅱ. 構成施策の目標指標の達成状況】



### 【Ⅴ. 政策を取り巻く社会経済情勢・今後の動向】

本県において、文化面では世界的なピアニストであるマルタ・アルゲリッチを迎えた「別府アルゲリッチ音楽祭」、 「大分アジア彫刻展」や「国東半島アートプロジェクト」など、多様な芸術文化の取組が展開されており、スポーツ面では、プロスポーツクラブの活躍や総合型地域スポーツクラブの育成などにより、県民の文化・スポーツに対する関心は着実に高まりを見せている。

また、27年には本県の芸術文化の拠点となる県立美術館の開館が予定されているほか、国民体育大会の九州ブロック大会が本県で開催されることから、県民の文化・スポーツに対する関心はさらに高揚していくことが予想される。

一方、過疎化・高齢化の進行等により、地域の伝統文化の保存と活用、継承や文化芸術活動の実施が困難になりつつある。また、青少年の健全育成や地域社会の再生、心身の健康の保持増進など、スポーツの果たす役割が多様化している。

こうしたことから、今後は、文化・スポーツを取り巻く社会情勢を的確に把握し、それらの課題や社会ニーズに応じた芸術文化・スポーツの振興施策や環境整備を積極的に展開していくことが必要である。

### 【Ⅳ. 評価が著しく不十分となった指標】

指標名	達成率
総合型地域スポーツクラブの創設数	78.2%
<p>&lt;著しく不十分となった理由&gt;                      本県では全ての市町村に1つ以上の総合型クラブが育成されている。これは国の掲げる指標となっており、そのことがクラブ育成の鈍化につながっていると考えられる。</p>	
県民すこやかスポーツ祭の参加者数	68.6%
<p>&lt;著しく不十分となった理由&gt;                      体育大会や運動会を5月に開催する学校が増加し、児童生徒を対象とした大会の減少に伴い、参加者が減少した。</p>	
プロスポーツチームの県内開催試合の平均観客動員数	79.2%
<p>&lt;著しく不十分となった理由&gt;                      平均観客動員数の最大の要素は大分トリニータのホーム戦観客数である。J1に昇格したため25年度は前年度よりは増加したが、成績低迷により観客動員数は伸び悩み、達成に至らなかった。</p>	